

# 宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.4 平成30年11月14日発行  
発行責任者:古川 正史

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館  
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484  
web : http://www.soya-teachers.org Mail : info@soya-teachers.org



## 振り返って考える 「力合わせ」

## とは???

忙しい中集ってくれた  
みなさんに感謝!

「忙しくて、もう大変…」そんな声が今年はいつにも以上に聞こえるように感じます。「忙しくて何もできない…」ではなく、「忙しいからこそ力合わせ!」という意識が大事です。以下に記録を載せましたのでみんなで読みましょう!

十一月十日(土)に、「教師のあり方と学校づくりを考える会」を開催しました。いま、宗谷管内ではいくつかの学校で、『先生が休んでいる』『子どもの指導に困難性がある』『など、職場づくりや学校づくりについての苦しみの中で奮闘されている様子があるようです。そこで、これまで私たちが大切にしてきた「宗谷の教育」という根本に立ち還り、私たちは宗谷の教職員として、また教職員組合としてどうしていくべきかを考え合う節目に三十七人が参加し、考え合うことができました。

パネルディスカッションから  
教育相談所 菅野先生

菅野先生からは、まず宗谷教組設立のころのエピソードとして、『私たちは温泉を作っている』という例え話があり

ました。最近よく聞く『組合のメ리트論』に似ています。しかし、ちょっと違つのは、温泉の例え話にあるつづきです。『私たちはこの温泉を、私たちが気持ちいいから掘っている。ケチなこと言いませんから、みなさんも入ってください』と。まずは、自分たちが自分たちのために、過こしやすく働きやすい学校にしてい、それが職場づくりなので、は…とお話がありました。



稚内市教育相談所

菅野剛先生

ランチを食べながら  
グループ討議!



宗谷教職員組合委員長

古川正史先生

古川委員長

最近、管理職の先生からの心無い言葉によって職場づくりに影響を与えていることがあるのではないかと…という課題意識が語られました。

職場づくりの中で、教職員集団の関係性をより良く改善していくのは、校長・教頭の仕事の責務のひとつです。しかし、残念ながら管理職のマネジメントがきっかけで心を痛めてしまつ先生がいるのも事実です。

古川委員長からは、「こうした残念ながら起こってしまう職場の実態が、先生方の結束を強めることにつながっていくことだである。大事なものは、その前に話ができる環境をつくり、語り合える同僚性

を持ち合うことが大事だ」と語られました。

末村先生

子どもたちをどのように見守っていくのか、私たちは子どもが抱えているものをひとりじゃすべて抱えられないから、つながることを大切にしていきたい…ということを稚内のネットワークを例にして語ってくださいました。

また、「たとえ仕組みとして稚内のネットワークのよくなるものが確立していなくても、まずは隣の先生とつながる。子どもの味方、学校の味方を作っていく、そのために『うまくできませ〜ん』と言える勇気を持つことが助け合いを生み出すのだと思う」とお話もありました。

フロアから

おふたりから発言がありました。共通していたのは、管理職との関係と職場づくりについてです。数値目標に

追われている教育の現場で、管理職も一般教職員も苦しんでいる状況です。その結果、ぎすぎすした雰囲気になることもあるのではないのでしょうか。パネリストの先生方からは「同僚性はみんなで作るもの」というお話がありました。「誰が偉くて…」というピラミッド型の職場ではなく、「子どもの教育のために力を合わせる教職員集団」というフラットな関係性で、職員みんなでお互いに相互激励・相互批判できる関係性をみんなで作ることが重要です。



豊富支部長

末村哉子先生



教師のあり方と

学校づくりを考える会

参加された方々の感想

○ 先生と子どもたちはやはり鏡の関係で、先生がいまいきと過ごすことが子どもたちがいきいきと学校生活を過ごすことができるということや日々意識して、自分のワークライフバランスを考えていきたいと思えました。昨日の市連Pの植松さんもおっしゃっていましたが、ピラミッド型ではなくフラットな同僚性っていいなと思えました。色々な学校の大変さを共有したり、各校の現状を聞けて良かったです。

○ 転勤したばかりでなかなか目の前のこと以外に目がいかなくなった部分があることに改めて気がつきました。笑顔で子どもたちの前に立てるよう、もう一度初心に戻って頑張りたいと思えました。「カ合わせ」の本質について考えるとても難しいなあと思えました。学級の子どもたちにとっての「カ合わせ」も大人同士の「カ合わせ」も本質としては同じものなのかなと感じました。今後も考え続けていけるよう、頭の中にとどめておきたいと思えます。あ

りがとうございました。

○ 組合員がつながって職場づくりを進めていくことで、お互いが支え合えるようにしていくようにできればいいなあと感じました。無理せず集まれる人から。組合のいい所はこうやって先生方で話ができつながりを作れることだと思います。どこの支部、分会でもなかなか会議を開けていないけど、頑張っていこうとみんなで励まし合うことができました。

○ 色々な先生方のお話を沢山聞いて良かったです。グループ討議では、他校の大変さを聞いて、異なる校種や規模の学校の悩みを知ることができました。自校で何ができるのかを考える機会にもなったと思います。パネルディスカッションでは、「みんな」「つながる」「休んでいい」というワードが印象に残りました。無理なく、誰か一人に負担がかかることなく続けていける学校づくりをしていきたいと思えます。ありがとうございました。

○ みんなで会って、語り合っていていいですね。ありがとうございました。またつながりができました！

全教共済を知ろうのコーナー

第1回

お得になる年金共済

このコーナーでは「加盟者同士がお互いに助け合う」というシステムの共済について学びます。今回は「年金共済」についてです。なぜ第1回目に年金共済なのか？それには理由があります。この共済は申込期間が限定されているのです。実は**11月30日に締め切り**が迫っています。

「年金なんてまだ…」 「ろうきんの財形年金に入っているから…」という方もいるでしょう。もちろん考え方は様々ですが、実は全教共済の年金共済は三井や明治安田、住友などといった大手の保険会社に分散・運用してもらっている「拠出型企業年金**保険契約**」となっています。ここがポイントになっていて、みなさんが届いたハガキを元に書いた年末調整に係るのです。

生命保険は所得控除になるので、保険に入っている人は申告した額により12月の給料で税金が返ってきます。「給料明細の所得税にマイナスがついてる！」という方もいるのではないのでしょうか。生命保険について記入した欄よりも下の方に個人年金の記入欄があるのです。知っていましたか？

年金共済に入られると、生命保険と同様に税金が返ってきます。例えば毎月3000円支払うと、年間36000円を積み立てることができます。(数百円程度、手数料は取られます)実際にどの程度お得かというと、30歳ぐらいの単身者という設定で計算すると、**所得税で3000円、住民税で2500円ほどお得**になるというもの。手数料の10倍ほど戻ってきます。ただ貯めるのではなく、税金をお得にしてみませんか？月々3000円から始められますよ。気になった方は分会長、支部執行部、宗教組本部まで！

十一月三〜四日、合同教育研究全道集会在札幌市内で行われました。宗谷からは十八名の参加がありました。年々参加者が少なくなってきたことは否めませんが、レポート本数は十一本ありました。中には「初めてレポートを書きました」という方もいらっしゃいました。「最初は勢いでやります！と書いてしましました。でも書くことで実践を振り返ることができて良かったです。」と感想を述べてくれました。全道から教育関係者が集う関係で、「中学校の時の恩師にあえました！」とい



今年の交流会はイタリアン！

うお話も…。札幌は少し遠いかもしれませんが、「みんなで行く」ということも楽しいもの。まずはレポートなしのオフザバー参加でも大丈夫です。また来年よろしくお願いします！



今年も残り1ヶ月半…。宗谷はいたましい交通事故が多かったな…と振り返っています。いくら自分が気をつけていても事故が起きるときは起きてしまいます。しかし、だからと言って気をつけ



ない人はいません。大事なものは、振り返り、確認していくことかと。厳しい冬がきています。お体にきをつけ、お互いに思いやりの声掛けを…。

(えんどー)